



このおうちについて

平凡な賃貸アパートに住んでいた。壁にビスも打てないストレスから、「どうせ住むなら、自分で手を加えられる家に住みたい」という想いが強くなつていった。

改修可能な物件を取り扱う「D.Y.D」さんのサイトから、ひとりわ魅力的なデカバルコニーのある物件を発見。（しかしこのバルコニーは、老朽化のため入居後まもなく撤去される。）

東京の東の端、葛飾区。常磐線金町駅から徒歩7分。こじんまりした商店街のほとりに建つ、築45年、木造二階建ての一軒家。

床はベコベコ、お湯も出ない。砂埃に覆われた部屋に家財道具を運び入れ、「金町ハウス」での生活がスタートした。

もくじ

寝室

暮らしのアレコレ 1

洗面所

暮らしのアレコレ 2

キッチン

暮らしのアレコレ 3

和室

暮らしのアレコレ 4

土間リビング

フリースペース

つくったものの紹介

スペシャルサンクス

45	43	39	33	31	27	25	19	17	13	11	5
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---





Before

障子戸リメイク

作業期間 | 2週間 (6枚)

アイテム | ヤニアクどめシーラー / ペンキ / 刷毛 / マスキングテープ

砂壁はがし

作業期間 | 2時間

アイテム | カベトレール / バケツ / 水 / コテ / ヘラ

古くなつてシミと穴だらけだった障子紙は、あえて全部取り払つて格子を活かすことにした。柱や梁の木部の茶色と、新しく塗つたブルーグレーの華奢でリズミカルな格子が、なんだかモダンな雰囲気を醸し出した。



1 障子戸のリメイク。障子紙の格子部を濡れ雑巾でふやかして、障子紙をはがしたところ。ここまでは障子の貼替え作業と同じ。

2 こつちは格子にガラスがはまっているので、ガラス面を汚さないよう念入りにマスキング。これが意外と時間と根気がかかる。

3 取っ手のところのマスキングも忘れずに。

4 アクどめシーラー、乾かして、「ブルーグレー」のペンキ、乾かして、二度塗り。地道な作業。

5 砂壁をはがすのには「カベトレール」(笑)を使うと劇的に楽。白い粉末に水を混ぜると一瞬でゲル状に。

6 ゲルを砂壁に塗つて、しばらくしてからヘラではがすと…!

暮らしのアレコレ

チャイムのような音がする
せんまい仕掛けの古時計。

畳や壁をはがすと出てくる古い
新聞紙やチラシ。ついまじまじと読んでもらえます。

前に住んでいた人の名残がでてくるのが古いおうちの面白いところ。
創作した痕跡や趣味が垣間見れるもの等々…。
「おっ、なんか発見！」わくわく宝探しでできた金町ハウス。



土間に現れた、大きな機械を置いていた痕跡と油じみ。
近所の方の話では、昔電球ソケットを作るミニ工場
だつたらしい。



古い鏡台はアクセサリー棚
にリメイクしたよ。

釣りが趣味だったのかな?
釣り大会のお魚ピンバッヂ。

